

至学館大学

一般入試（前期） 1日目

国語 出題意図

第1問 *評論文の読解能力を問う。(池田晶子『考える日々』)

問1 漢字問題。文脈にあてはまる適切な語を思いつき、該当する漢字を選択させて、総合的な語彙力を試している。

問2 語句の問題。「逆説」の意味を選択させて、語彙力を試している。

問3～問8 傍線部分の説明として最も適当なものを選択させる問題。本文全体からヒントを集め、紛らわしい選択肢を消去する必要があり、総合的な読解力を試している。

問9 複数の文章を関連させながら解答させる問題。「法律に従う」という行為について〔文章Ⅱ〕における筆者の主張を正しく理解し、〔文章Ⅰ〕と関連づける必要があり、総合的な思考力・応用力をはかる問題である。加えて、選択肢が5人の学生の意見というかたちで作られており、最も適当な選択肢を選ぶには思考力が必要である。

第2問 *評論文の読解能力を問う。(鷲田清一『わかりやすいはわかりにくい?』)

問1, 4, 6(3), 7, は、筆者の主張や論理展開を正確に把握し、その根拠、因果関係、対比構造などを読み取る力を問う問題。

問2 は、カタカナを漢字に変換するにあたり、同音異字が含まれた選択肢の中から適切なものを選び取る問題。

問3 は、空欄に言葉を補充する問題。四字熟語や慣用表現に関する知識を問う問題。問5, 6(1)はいずれも日常的に用いられる語彙の意味・用法に関する知識を問う問題。

問6(2) は、筆者の主張と具体例が適合するか否かを選別する問題。